

唯識説の深層心理とことば

—『撰大乘論』に基づいて

仏教学

おだに のぶちよ

小谷信千代 著 ▼46判・並製カバー・320頁 定価 四、一八〇円

2023年8月刊行



あらゆる物事は心の現れと説く唯識。世界が現象する経緯を、哲学的整合性をもって理論的に説明し得る「ことば」の哲学として展開。

【目次】

はじめに

序言

序章

- 一 無著の時代
- 二 唯識思想における「ことば」

第一章 唯識ということ

第二章 アーラヤ識説

- 一 アーラヤ識
- 二 マナ識
- 三 熏習と種子
- 四 アーラヤ識の二種の縁起
- 五 聞熏習の種子

第三章 三性説

- 一 三性とは何か
- 二 三性の名称の由来

第四章 現象世界生起の構造

- 一 依他起性に潜むダイナミズム
- 二 依他起性における意識
- 三 「ことば」を生起する心作用
- 四 言語活動を生起する想と尋伺
- 五 分別の形相因
- 六 行の形相因
- 七 唯識学派が「ことば」を重視する理由

第五章 唯識学派の修習法

- 一 有部の法の修習
- 二 唯識学派の法の修習

第六章 唯識説の「ことば」の哲学

- 一 種子はすべて潜在的「意味」形象である
- 二 唯識思想における深層心理と「ことば」
- 三 見聞覚知は「ことば」の種子を熏習する
- 四 意味への転成による「ことば」の種子の熏習
- 五 意識の深層への言語学

第七章 瑜伽行と仏身論

- 一 無分別智と転依
- 二 無分別智と三種の仏身

おわりに
参考文献／索引

◆著者略歴

小谷信千代(おだにのぶちよ)

一九四四年、兵庫県生まれ。一九六七年、大谷大学文学部仏教学科卒業。一九七五年、京都大学大学院修士課程修了。一九七八年、大谷大学大学院博士課程満期退学。大谷大学教授を経て、現在大谷大学名誉教授。
著書は『俱舍論の原典解明賢聖品』(共著)、『法と行の思想としての仏教』『撰大乘論講究』『世親浄土論の諸問題』『真宗の往生論—親鸞は「現世往生」を説いたか』『虚妄分別とは何か—唯識説における言葉と世界』ほか。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
小谷信千代著 法藏館 定価 四、一八〇円	住所
唯識説の深層心理とことば —『撰大乘論』に基づいて ISBN:978-4-8318-7096-4 C3015	お電話
	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp